

● 与論島を活性化させるためには

- 教育学部 特別支援教育教員養成課程 1年

● 岡林 千夏

- 私が与論島の方のお話を聞いて特に問題だと思ったのは、女性が子どもを産む環境があまり整っていないということです。人口が増えることは、島の活性化の大事な要素だと思います。産婦人科が島内にないので毎回島の外に行かなければならないのは、女性にとってかなり不便です。子どもを授かったら、月に何回か通院する必要があるし、おなかの子どもやお母さん自身に何かあった時にすぐに診てもらえないのも不安だと思います。産婦人科がある場所に子どもが産まれるまで滞在しておくにしても、それなりの滞在費がかかりますし、慣れない土地であれば心細くなる方もいらっしゃるでしょう。1番良いのは与論島の病院に産婦人科を作ることだと思います。そうなれば島の人が安心して子どもをつくり産むことができます。産婦人科を作れなかったとしても、島外で産む方に滞在費を支給するというような資金援助も必要だと思います。
- 次に宣伝のしかたです。与論島では、タカラトミー主催の「人生ゲームヨロン」や NMB48 のプロモーションビデオの撮影など、若者が興味を持つようなことが行われていたとおっしゃっていました。私はそれを聞いて、面白そうだったし、参加してみたり現場に行ってみたりしたいとも思いました。しかし、私はその時まで与論島でそのような取り組みをしていたことを知りませんでした。もっとポスターやガイドマップ、パンフレットなどをおおいに活用してたくさんの人に知ってもらえば興味を持つ人も増えて、観光客の増加にもつながると思います。また観光協会の方が、与論島にはまだゆるキャラのようなマスコットキャラクターがないとおっしゃっていました。マスコットキャラクターが知られることで有名になった都市もあるし、子どもから大人までが与論島について興味を持つきっかけにもなると考えます。地元の人たちからデザインを募集してみるのもいいですし、そのキャラクターデザインに与論島の有名なものを取り入れることで、簡単に特産品が何なのか知ってもらうことも可能です。このマスコットキャラクターでの宣伝効果は大きいと思います。修学旅行の誘致もしていらっしゃると思いますが、与論島は城があったり沖縄との抗争があったりと歴史的にも学べる場所はたくさんあるし、豊かな自然ともふれあえるため、ぜひ行ってみたいと思いました。それに関してももっと大々的に宣伝して誘致していくべきだと思います。また、友達が与論島についての本を探しに行ったとき、本があまりな

くて探す時に苦労したと言っていました。与論島の情報が書いてある本をもっと出版することも必要だと考えました。

- 次に、交通の便についてです。だいたいの人々が船で行きますが、20時間もかかるし、飛行機で行くにしてもかなりの交通費がかかります。船では、長い船旅で退屈しないように売店でいろいろなものを売ったり、小さなゲームセンターがあったりしましたが、やはり20時間もあっては時間をもてあましてしまいます。海を眺めながらゆったりと旅行したい人はそれでもいいと思いますが、移動時間を短くしたいという人にとってはかなり都合が悪いです。そのような人にとって格安航空機はあってほしいものだと思います。移動時間が短く、値段もそれなりに安くなれば行ってみようとする人も増えていくと私は考えます。

以上が私が与論島を活性化するために考えたことです。

与論島についての本

宮本常一と歩いた昭和の日本 1